

九条の会

2009・12・15

第131号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

中国、近畿でブロック交流集会開く

“あまり多人数の参加ではなく、参加者数をしばって踏み込んだ交流を”、との要望に応え、「九条の会」のよびかけによるブロック別交流会が12月12日に中国ブロックで、12月13日に近畿ブロックで開かれました。

交流しあう意義を再発見

〔中国ブロック〕 中国ブロックの交流集会は岡山市の岡山市民会館会議室で、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県の5県から58地域・分野の「会」、120人が参加して開かれました。

午前11時から開かれた全体会では、広島県九条の会ネットワークの石口俊一さんが開会あいさつと趣旨説明、「九条の会」事務局の高田健さんが報告し、つづいて、各県における典型的な取り組みの報告がおこなわれました。

注目をひいたのは山口県・高校職場九条の会の石田高士さんの報告で、「非組合員や管理職を含めて、9条を守る運動を広げていくことをめざし、これまで48職場に『会』ができた」こと、とりわけ障がい児学校では高教組や県教組など3つの組合と非組合

員ら4人がよびかけ人になって賛同署名を管理職にも広げていることを紹介しました。

また鳥取県・中部九条の会の三谷昇さんは、「今こそ憲法9条を生かすとき！」というビラを4万5000世帯に届けた経験を報告しました。

昼食休憩をはさんだ後、「九条の会」事務局で一橋大学教授の渡辺治さんが「新しい政権と日本国憲法をめぐる情勢」をテーマに記念講演。つづいて5つの分散会にわかれて交流をおこないました。分散会の発言では、「07年4月に町内会役員、医師、弁護士、宗教者など多彩な人びとを結集して結成、07年9月からは8回シリーズの学習会をはじめて開いた。参加者の要望を聞きながら、とくに草の根の取り組みを重視して学習会や映画会を継続的にひらいている」（岡山・宇野学区九条の会）。「公民館を借りようとしたら政治的な集会には貸さない、というので市の条例をとりよせ再交渉で認めさせるなど次々とハードルを乗り越えながら市民権を得てきている。全住民に声が届くよう努力している」（岡山・赤盤九条の会）などの報告がなされました。これらの報告を聞いて「ブロック別の交流会は刺激

になってよかった。東京で開いたのでは遠くてゆけない。またやりたい」などの感想がいただきました。

青年分科会でも活気ある討論

〔近畿ブロック〕 近畿ブロックの交流集会は大阪吹田市の関西大学のキャンパスで開かれ、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、兵庫の2府4県から約700人が参加しました。

午前10時からの全体会では、吉田栄司・「九条の会おおさか」事務局長が開会あいさつ。つづいて渡辺治・「九条の会」事務局・一橋大学教授が、「民主党政権と改憲の行方～九条の会の新しい課題を探る」と題して記念講演し、つづいて2府4県の「会」から一人ずつ、自分たちの「会」の取り組みについて報告されました。

午後からは「東北アジア・世界の平和と憲法9条」、「9条改憲の動向とわたしたちの課題」、「青年・学生と憲法9条」とテーマを設定しての3つの分科会と、3つの分散会にわかれて学習と交流をおこないました。

とくに「青年・学生」の分科会では、これまで1314回の「戦争出前嘸」をしてきたという元日本兵の本多立太郎さん、アメリカ在住のジャーナリストの薄井雅子さんから戦争の悲惨さをきいて9条の大切さを再確認するとともに、青年ネットの鈴木久さんから『平和的生存権』は日本国民だけではなく、『全世界の国民』に保障されたもの』との報告がありました。「父からも聞けなかった戦争の話に反戦の心を再確認した。また、現在のアメリカの若者の現状と苦しみ知ることができた」の感想が出されました。

分散会討論でも、「多様な経験が語られ

大好評だった紙芝居

「別海九条の会」は今年おこなった九条喫茶の企画として、沖縄戦で奇跡的に生き残った佐々木政一さんの話を紙芝居にして披露しました。読み聞かせの会の“くさぶえ”の方々が読み、高橋康二くんがギターとブルースハープで盛り上げてくれました。以下はこの催しを報じた「釧路新聞」11月30日付です。

別海九条の会(吉野宮子会長)は28日、別海キリスト教会で、同町上風連の佐々木政一さん(86)の沖縄戦体験を紙芝居にし、「佐々木政一さんの戦争～沖縄戦で生き残った一兵士の証言」を、集まった親子連れらに初披露した。作画は同町の山口長伸教育長、語りは同町のおはなしの会くさぶえ。約30分ほどの作品となり、参加者は時折涙をふきながら、沖縄戦を砲兵として戦い、重傷を負って九死に一生を得た佐々木さんの「ひどい戦争だった。あわれな戦争だった」とのメッセージを受け止めた。

るとともにね率直に悩みも語り合われたのがよかった」との感想にみられるように人数をしばりこんで全員が討論に参加できて交流が深まりました。

寄せられた感想文では、「〔渡辺治さんの話を聞いて〕国民の声、そして『九条の会』が世論を動かしている。改憲を提言している民主党に絶対、九条を変えさせてはならない！ 来年の国会改革の画策、国民投票法施行など、気をゆるめることなく、『九条の会』を大きくすることの必要性を再認識」と(兵庫「芦屋九条の会」50代、女性)。